

第4学年2組 国語科学習指導案

1 単元 調べたことを整理し、発表しよう「だれもが関わり合えるように」 資料「手と心で読む」

2 本単元の指導の立場

(1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、低学年の頃から図書館に親しんでおり、進んで読書をする姿が多く、図書館クイズや読書ビンゴなど図書館のイベントには積極的に参加している。しかし、学級で時間を取らないと、図書館に足が向かない子もいる。また、社会科や総合的な学習の時間の調べ学習では、目的に合った本を図書館で探す際に、パソコンで検索したり分類番号をもとにさがしたりする子どもたちもいる。第3学年「資料から分かる小学生のこと」では、自分が調べたい課題を、決めそれについてのアンケートを作り、集計してその結果から分かることをまとめ、発表することができた。また、1学期には総合的な学習の時間の学習で、「リサイクル」について調べて新聞を書くために図書館を利用した。本の中の自分の目的に合った部分を探してノートに書き写し、それを新聞記事にする際に、そのまま本の内容を書き写している子どもがほとんどで、大事なことだけを書きだしたり、まとめたりするのは難しい姿が見られる。そこで、総合的な学習の時間「よりよいくらしをめざして」で、盲導犬や点字についての学習をするこの期に本単元を取り上げる。そして、図書館で自分の目的に合った本を探し、その本に書いてあることの大事なところをメモして、分類・整理することができるようにしたい。このことは「読書センター」としてだけでなく、「学習・情報センター」として学校図書館を活用していく子どもを育てるとともに、自分の考えを主体的に表現する子どもを育成する上からも意義深い。

(2) 教材の価値

本単元は、だれもがよりよく関わり合うための方法に興味をもち、調べる活動を通して、自分の課題を設定し、選書して情報を集め、調査メモに要点を書き、分類・整理することができることをねらいとしている。資料「手と心で読む」は「点字」について書かれており、「点字」は、だれもがよりよく関わり合うための方法の1つとして興味をもたせることのできる作品である。また、総合的な学習の時間との関連をもたせることにより、わかりやすいメモのとり方、分類・整理の仕方を学ぶ必然性が明確になると考えられる。本単元での学習は3学期「聞き取りメモの工夫」第5学年「きいて、きいて、きいてみよう」の学習に発展していく。

(3) 指導の構え

「だれもがよりよく関わり合うために、私たちの身の回りにはどんなものがあるのか」調べる活動を通して、自分の課題を設定し、本を選び、調査メモに要点を短い言葉や文で書き、分類・整理することができるようにしたい。そして、そのことを発表し、互いのよかったところを伝え合う、言語活動を行う。図書館活用に関する活動は、課題にあった本から簡条書きで要点を記録して調査メモに書いていく活動は、情報を活用するために適した活動であると考えられる。

本単元の指導にあたっては、まず、「つかむ」段階で、『関わり合う』ことについて話し合わせ、総合的な学習の時間の活動を想起させることで単元のめあてをつかませる。次に、「つくる」段階では、自分の課題について調べる方法を考えさせ、よりよい記録のしかたをとらせさせ、発表の内容と発表の組み立てを考えさせる。そして、「みがく」段階では、プレ発表会を開き友だちとアドバイスをし合うことで、発表の内容を練り上げさせる。最後に、「生かす」段階では、課題について調査したことや発表をして考えたことを交流させ、単元の振り返りをさせる。

特に単元を通して福祉に関する本に興味をもって読んだり、「つくる」段階で、メモカードのよさを知り、メモカードを实际書いたりしていく中で、自分の課題にあった本や資料を選んだり、これまでのノートを使ったりして学校図書館の活用を図る。

3 目標

- (1) 「手と心で読む」をきっかけに関わり合いについて考え、自分の課題をもって調べたりまとめた
りしたことを聞き手にわかりやすく伝えようとする態度を育てる。【関心・意欲・態度】
- (2) 調べる方法を選び、課題を解決するための情報を集め、要点をメモすることができる。
【話すこと聞くこと】
- (3) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。
【言語に関する知識・理解】

4 単元計画 (全15時間)


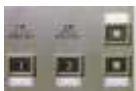
階	時	学習活動と内容	教師の支援
つ か む	①	<p>1 「関わり合う」ということについて思ったことや知っていることを話し合い、単元のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>だれもがよりよく関わり合うために、私たちの身の回りにはどんなものがあるのか調べ、にじっ子フェスタで伝えよう。</p> </div> <p>○ 資料「手と心で読む」を読み、もっと知りたいことなどを話し合い、学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p>	<p>○ 総合的な学習「よりよい暮らしをめざして」の盲導犬や点字・手話の体験を想起させ、「関わり合うこと」について具体的な活動を出し合うことができるようにする。</p> <p>○ 福祉に関する本（点字絵本や点字の地図など）を準備し、興味をもつことができるようにする。</p>
	①	<p>2 自分の課題について調べる方法を考え、よりよい記録のしかたを知る。</p> <p>○ 自分の課題を設定し、調べる方法を考え計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手と心で読む」にもあった、目の不自由な人の役に立つものを調べよう。 ・この前体験した盲導犬や手話についてもっと調べてみよう。 	<p>○ 総合的な学習「よりよい暮らしをめざして」の学習で考えたこと・思ったことを書いたノートをもとに想起させ、自分の課題を設定できるようにする。</p>
つ く る	③ 本 時 1/3	<p>○ 調査メモカードの取り方について考え、わかりやすいメモの取り方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを短い言葉で書くといいね。 ・調査メモには絵や写真を入れえると分かりやすいね。 <p>○ 調査メモを取りながら、計画にそって課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことについて、とてもたくさん書いてあるから要点だけを書いていこう。 	<p>○ 調査メモカードの工夫が分かるように、手本のメモカードを提示する。</p> <p>○ 子どもたちの課題にあう本が1人1冊以上あるように、学校司書との連携を図り、盲導犬や点字・手話に関する本を準備する。</p>
	②	<p>○ 調べたことや情報を分類・整理して、気づいたことや疑問に思うことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う場所や時で分類できるね。 ・大事なことがはっきりしてきたね。 <p>3 発表の内容と発表の組み立てを考える。</p> <p>② ○ 発表原稿の書き方を考え、構成や表現を工夫して、発表原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何について調べたのか、どうやって調べたのか、調べて分かったことを書こう。 <p>② ○ 発表に必要な提示資料を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人が見やすいように大きな文字で書いて、イラストも入れよう。 	<p>○ それぞれの課題で分類・整理することができるように、観点を提示する。</p> <p>○ 発表原稿の手本を提示して、発表のよさや、話の構成や工夫を見つけさせる。</p> <p>○ わかりやすい発表になるための資料にするために、イラスト・大きな文字・写真など、どれがいいかを助言する。</p>
み が く	① ①	<p>4 プレ発表会を開き、友だちと聞き合いアドバイスし合う。</p> <p>○ 同じ課題のグループで、プレ発表会をする。</p> <p>○ にじっ子フェスタで保護者や地域の方々に向けての発表練習をする。</p>	<p>○ よりよい発表にするためのアドバイスがお互いに行えるように、話し方・聞き方のポイントを提示する。</p>
生 か す	① ①	<p>5 課題について調査したことや発表をして考えたことを交流し、単元の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段何気なく使っていた言葉や文字の大切さがわかったよ。 ・「よりよいかかわり合う」ことについて詳しく知ることができ、自分の考えを深めることができた。 	<p>○ 振り返る視点（調べ活動・発表の仕方など）を提示して、学習の振り返りができるようにする。</p>

5 本時の主眼

○ これまでのノートとメモカードを比べることで、メモカードのよさや工夫に気づくことができる。

6 準備 総合的な学習のノート 調べ活動に使う本 メモカード

7 本時の展開 (45分)

階	学習活動と内容	教師の支援
つかむ つ く る み が く 生 か す	<p>1 前時の学習内容を確認、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ 調べる計画をもとに、メモカードに要点をメモしてカードを増やしていくことを確認する。</p> <p>【これまでのノート】</p> <div data-bbox="220 459 606 784" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎点字について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の自動券売機や郵便局、市役所の中とか、ジュースの缶やジャンパーにもついている。 ・点字とは目の不自由な者が指でさぐって読む文字で、1825年フランスのルイ=ブライユが考え出して、点字の絵本や教科書がある。 ・点字を打つ機械があって、一文字一文字打っていくにはとても時間がかかる。 </div> <p>【メモカード】</p> <div data-bbox="638 459 1050 784" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>エレベーターのボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎見つけた場所「イオン」 ◎工夫「1階、2階、開、閉、の下に点字がつけてある」 ◎写真や絵  </div> <div data-bbox="287 795 949 851" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>メモカードのよさを見つけよう。</p> </div> <p>2 調べたことを記録するためのメモカードの書き方を知り、そのよさについて話し合う。</p> <p>(1) これまでのノートとメモカードを比べて、メモカードのよさを見つける。 (個人)</p> <div data-bbox="231 1030 630 1243" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>エレベーターのボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎見つけた場所「イオン」 ◎工夫「1階、2階、開、閉、の下に点字がつけてある」 ◎写真や絵  </div> <p>【メモカードのよさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大事なことが短い文・言葉 ◎イラスト・写真 ◎見出しを書く <p>(2) これまでのノートとメモカードを比べて、メモカードのよさを話し合う。 (全体)</p> <div data-bbox="220 1366 1005 1456" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>メモカードには大事なことを選んで、短い言葉や文で書いていますよ。</p> </div> <div data-bbox="199 1456 1093 1556" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>調べたもののイラストや写真を入れるともっと分かりやすいよ。</p> </div> <div data-bbox="231 1590 1013 1680" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>調べたものがどこにあるのか、どんなよさがあるのかが分かりやすいね。</p> </div> <p>3 自分の課題について、本で調べて、盲導犬体験や点字や手話のノートからメモカードに書く。</p> <p>○ メモカードの項目ごとに記録していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬ができること ・車いすについて ・手話や点字が使われているところ ・点字ができるまで <p>4 本時を振り返り、「今日の学習で」を書く。</p> <div data-bbox="220 1937 1093 2016" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>メモカードのよさは、調べたものの大事なことや工夫がわかりやすくなることである。</p> </div>	<p>○ これまでの体験活動のノートを準備しておき、メモカードと比べることができるようにする。</p> <p>○ 本時のめあてをつかませるために、拡大したこれまでのノートとメモカードを比べる。</p> <p>○ メモカードの見本を提示し、これまでのノートを比べることを通して、メモカードのよさを3つの視点で見つけることができるようにする。</p> <p>○ メモカードを書くことができるように、自分が調べる課題について選んだ本を1人1冊準備しておく。</p> <p>○ メモカードに書くことを自分で見つけることが難しい子には、あらかじめ本に付箋を貼って、メモカードの記録ができるように支援する。</p> <p>※ メモカードの工夫やよさに気づき、自分の課題についてメモカードを書こうとしている。</p>